

満州娘

【作詩】石松秋二
【作曲】鈴木哲夫

1

わたし 十六 満洲娘
春よ 三月 雪解けに
迎春花（いんしゅんほわー）が 咲いたなら
お嫁に行きます 隣村
王（わん）さん待ってて 頂戴ネ

2

ドラや太鼓に 送られながら
花の馬車（まーちよ）に 揺られてく
恥ずかしいやら 嬉しいやら
お嫁 に行く日の 夢ばかり
王（わん）さん待ってて 頂戴ネ

3

雪よ 氷よ 冷たい風は
北の ロシヤで 吹けばよい
晴れ着 も母と 縫うで待つ
満洲の春よ 飛んで来い
王（わん）さん待ってて 頂戴ネ

満州娘

1

わたし 十六

満洲娘

春よ 三月 雪解けに

迎春花（いんしゅんほわ
ー）が 咲いたなら

お嫁に行きます 隣村

王（わん）さん

待ってて 頂戴ネ

2

ドラや太鼓に

送られながら

花の馬車(まーちよ)に
揺られてく

恥ずかしいやら

嬉しいやら

お嫁に行く日の夢ばかり
王(わん)さん

待ってて
頂戴ネ

3

雪よ 氷よ 冷たい風は
北のロシアで
吹けばよい
晴れ着も母と
縫うで待つ
満洲の春よ
飛んで来い
王（わん）さん
待ってて 頂戴ネ